Takara standard

収納キャビネット
設置説明書

もくじ

安全上のご注意 …… 2
各部の名称 …… 3
設置前のご確認 …… 4
設置状態図 …… 5
給排水位置図 …… 6
必要工具 …… 6
部品の確認 …… 7
設置手順 …… 11
調整方法 …… 18
点検・仕上げ …… 20
お願い事項 …… 20

お客様へ

このたびは、収納キャビネットをお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

◆ご使用前にこの取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に、「安全上のご注意」については、必ずご使用前にお読みいただき、安全にお使いください。
◆この取扱説明書はいつでもご覧になれる場所に、大切に保管してください。
◆保証書に販売店名、お引渡し日などが記入されていることを、必ずお確かめください。

設置される方へ

◆この説明書は、設置上のご注意と手順を記載しています。設置前に必ずお読みの上、正しく設置していただくようお願いいたします。
◆設置後は、この説明書を必ずお客様にお渡しください。お渡しできない場合は、わかりやすい場所に納めておいてください。
◆設置完了後、各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
◆本商品の設置が終了しましても、他の作業が残っている場合は万一の場合にそなえ、商品に布などをかぶせて保護してください。
◆梱包資材等の不要部材は、法令にしたがって適正な処理をお願いいたします。

安全上のご注意 必ずお守りください

■設置作業の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく設置してください。

■表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意 この表示の欄は「使用者が傷害を負う、または物的損害の発生が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

禁止 このような図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。

必ず実行 このような図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 警告

必ず実行

●キャビネットの壁への固定は、壁の構造を認して設置手順にしたがって正しく行う

固定方法を誤ると使用中に下台が転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

必ず実行

●水道工事は、関連する法令、法規にしたがって必ず「有資格者」が行う

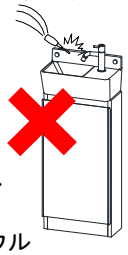
接続や固定が不完全な場合は、水漏れの原因となります。

⚠ 注意

禁止

●工具類等を手洗器・カウンター・キャビネットに落としたり当てたりしない

傷がついたり欠けたりするおそれがあります。



●Sトラップを U字型に曲げたり、折り曲げて取付けない

使用中に排水パイプがつまり、ボウルから水があふれて床を汚すおそれがあります。

必ず実行

●組込まれる水栓などについては、それぞれの設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置する

設置を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

●キャビネットの壁への固定は、壁の構造を確認して設置手順にしたがって正しく行う

固定方法を誤ると使用中にキャビネットが転倒したり、位置がずれて給排水管から水漏れするおそれがあります。

必ず実行

●排水パイプの接続は、設置手順にしたがって正しく行う

接続に不備があった場合、使用中に水漏れが発生し、キャビネットの中や床を汚すおそれがあります。

●Sトラップと排水管との接続は、設置手順にしたがってスキマのないように正しく行う

接続部にスキマがあると、不快な臭いやカビの発生原因になることがあります。

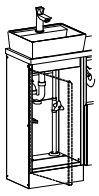
●設置終了後は、扉の傾き、ガタつき、丁番のゆるみがないことを必ず確認する

扉の取付けに異常があると、使用中に扉が落下して、ケガをするおそれがあります。

●扉や引出表板を調整する時は手回しドライバーを使用する

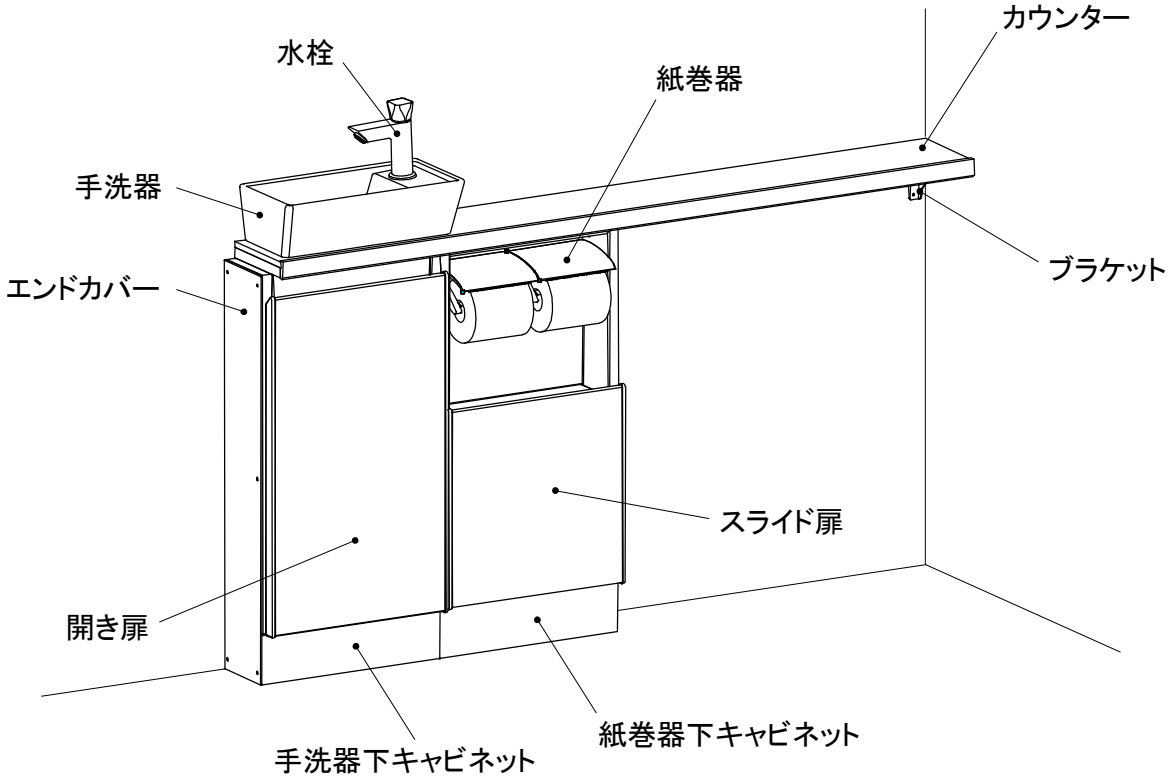
ネジがはずれて扉や引出表板が落下するおそれがあります。

●水栓の水量の調節および器具の点検を容易にするため必ず止水栓を使用する

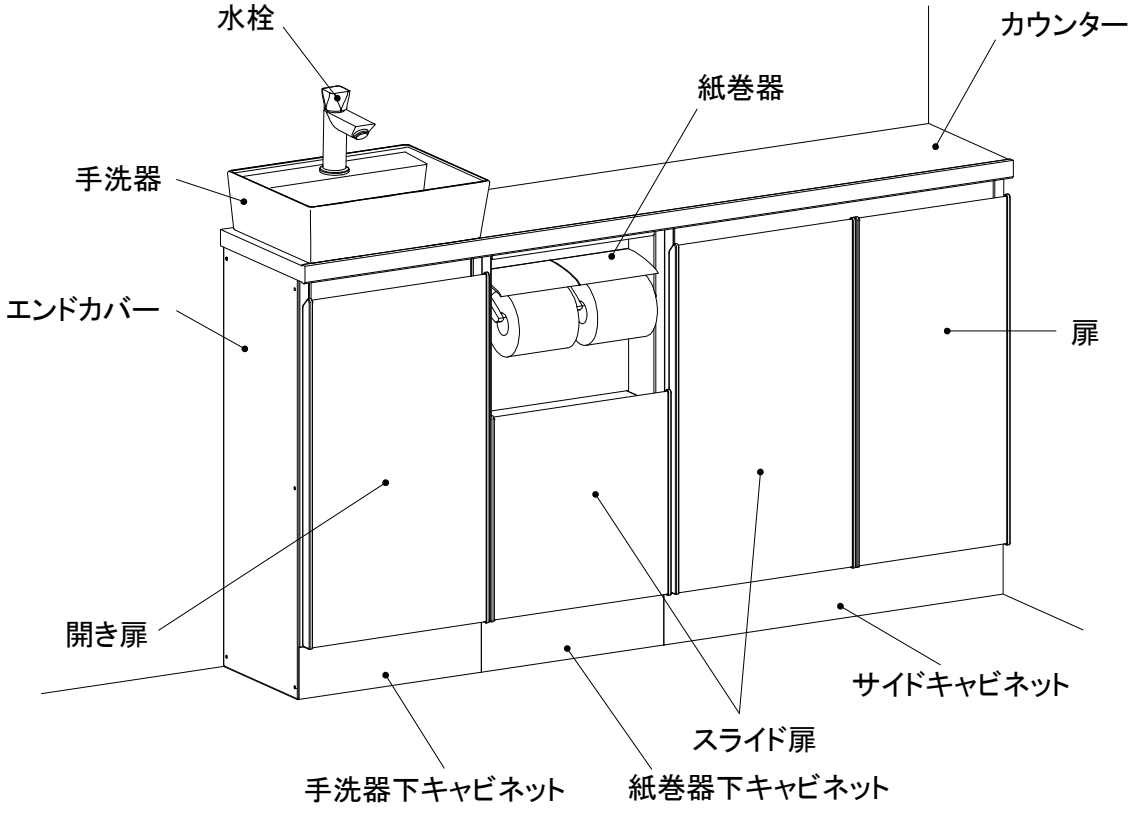


各部の名称

■奥行157mmタイプ[セミプラン](左勝手) ※代表例



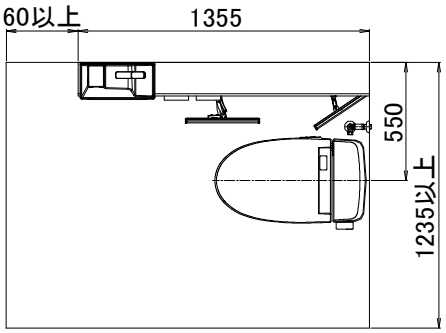
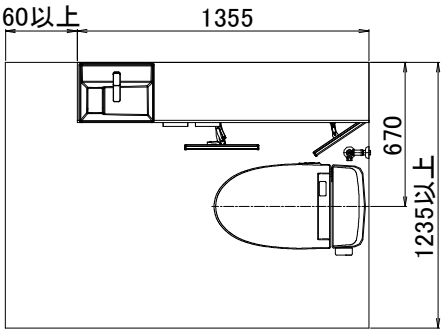
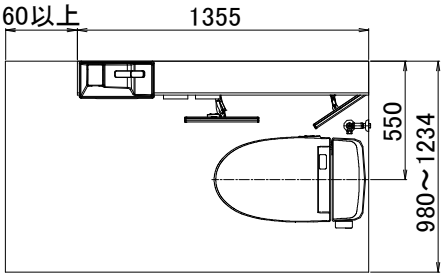
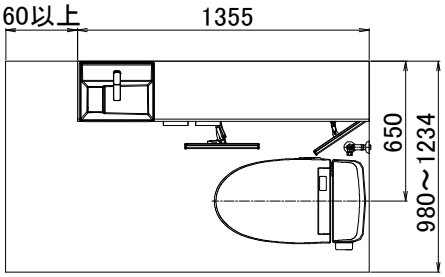
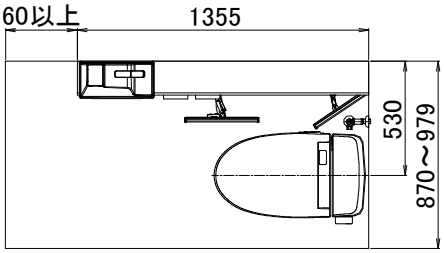
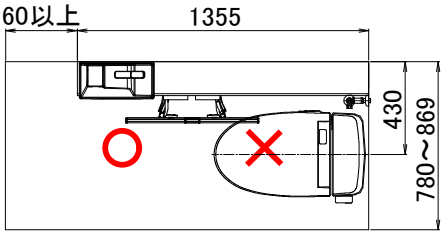
■奥行280mmタイプ[フルプラン](左勝手) ※代表例



※サイドキャビネットは必ず室内の奥側(トイレ横)に配置されます。
※上記の図を左勝手とします。右勝手は左右対称となります。

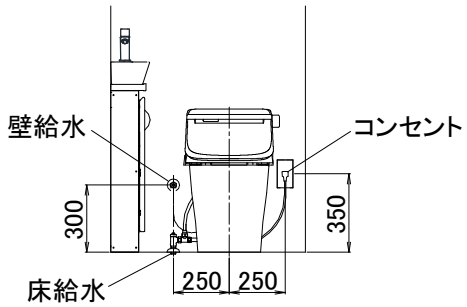
設置前のご確認

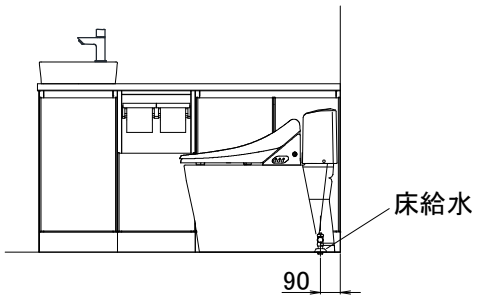
■取付用桟木が、壁面の指定位置に設置されていることを確認してください。（設置状態図参照）
■屋内側の給排水管が所定の位置に設置されているか確認してください。（給排水位置図参照）
■設置されるタイプ・構成によって、設置条件がありますので下図を参照してください。
・便器排水芯位置は部屋の間口センターに対して、片寄せになります。
・便器排水芯位置は下記図の位置を守るようにしてください。
※下図と異なる位置で設置すると、扉が干渉したり、紙巻器が使いにくくなる場合があります。

室内間口(mm)	奥行157mmタイプ	奥行280mmタイプ
1235以上		
980～1234		
870～979		
780～869	 ※紙巻器下キャビネットの扉開閉方向注意 ※サイドキャビネット設置不可	

※ご注意
・図は左勝手を示しています。
右勝手は左右対称となります。
・キャビネット丁番取付側が横壁近くに
なる場合、横壁とキャビネットの間に
60mm以上のすき間を設けてください。
（扉の開くスペースを確保するため）

■給水・コンセント位置事例

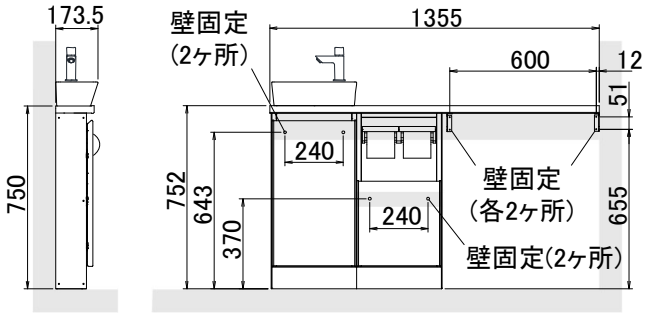




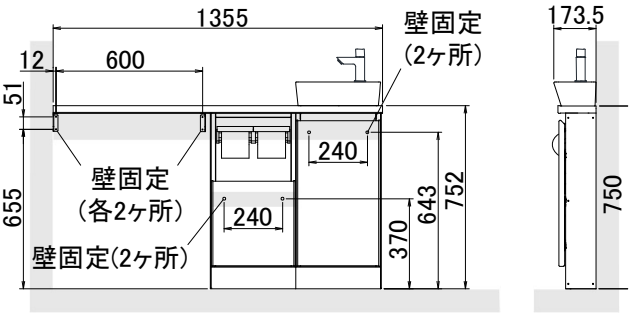
設置状態図

■奥行157mmタイプ[セミプラン]

＜左勝手＞

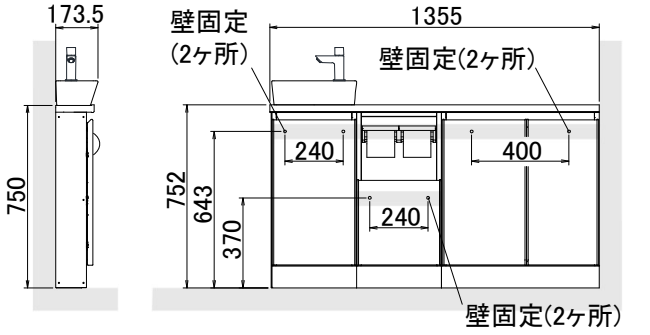


＜右勝手＞

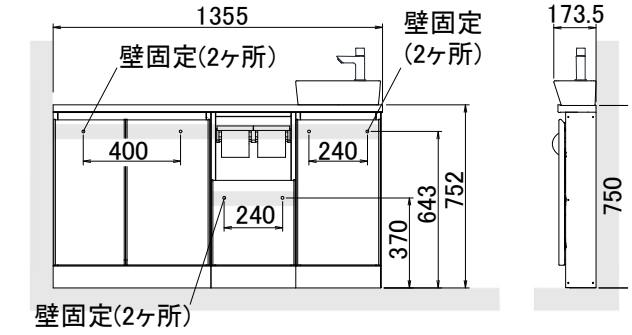


■奥行157mmタイプ[フルプラン]

＜左勝手＞

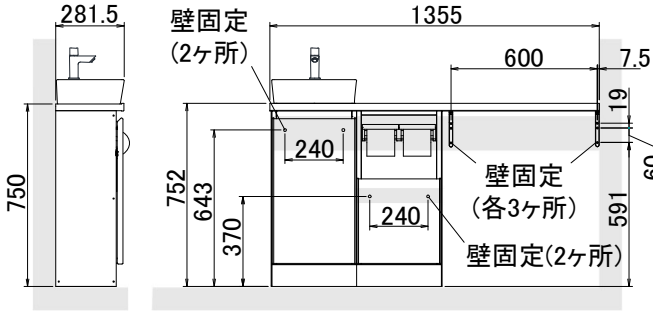


＜右勝手＞

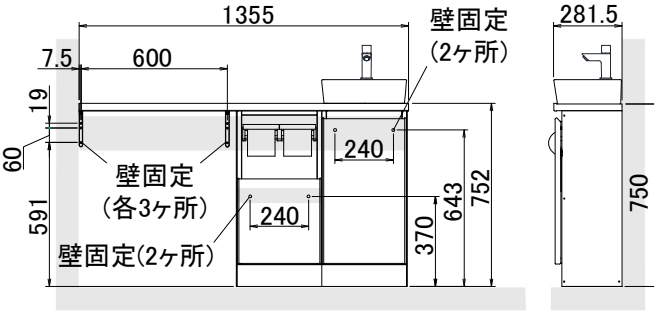


■奥行280mmタイプ[セミプラン]

＜左勝手＞

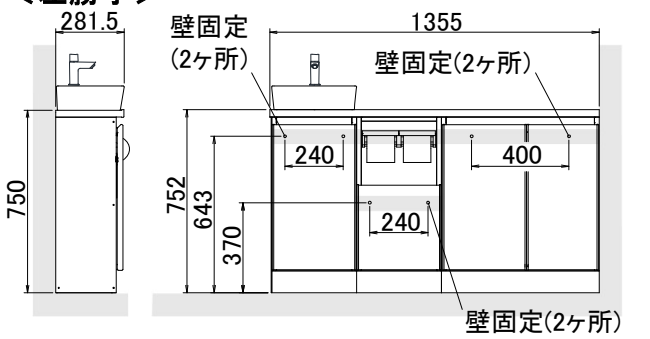


＜右勝手＞

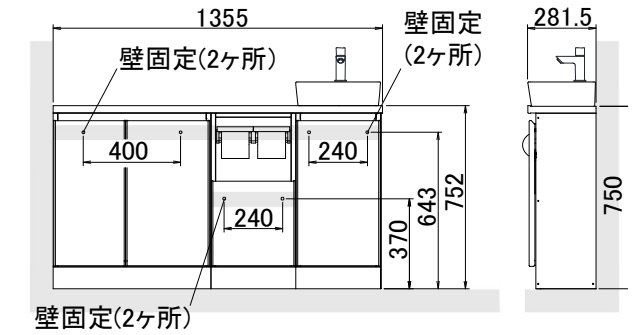


■奥行280mmタイプ[フルプラン]

＜左勝手＞

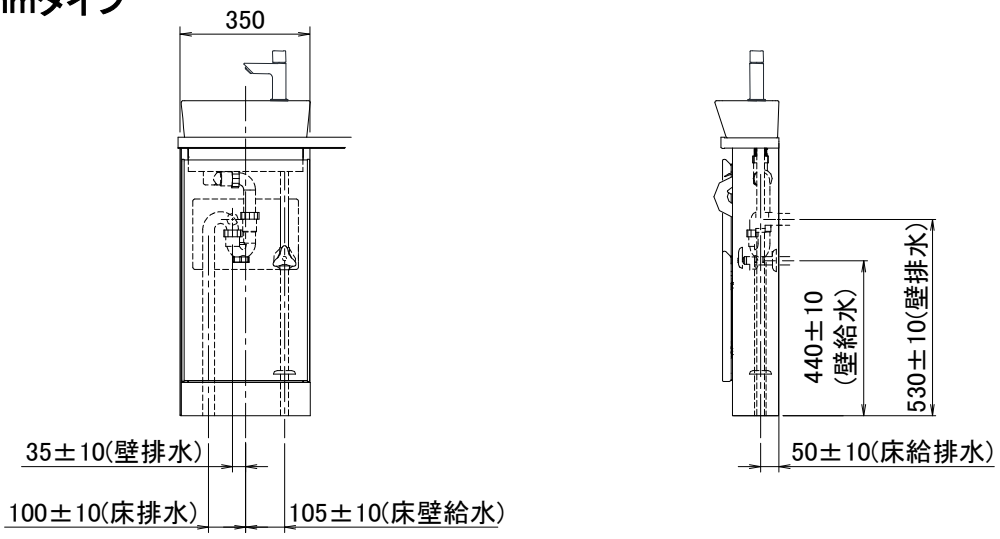


＜右勝手＞

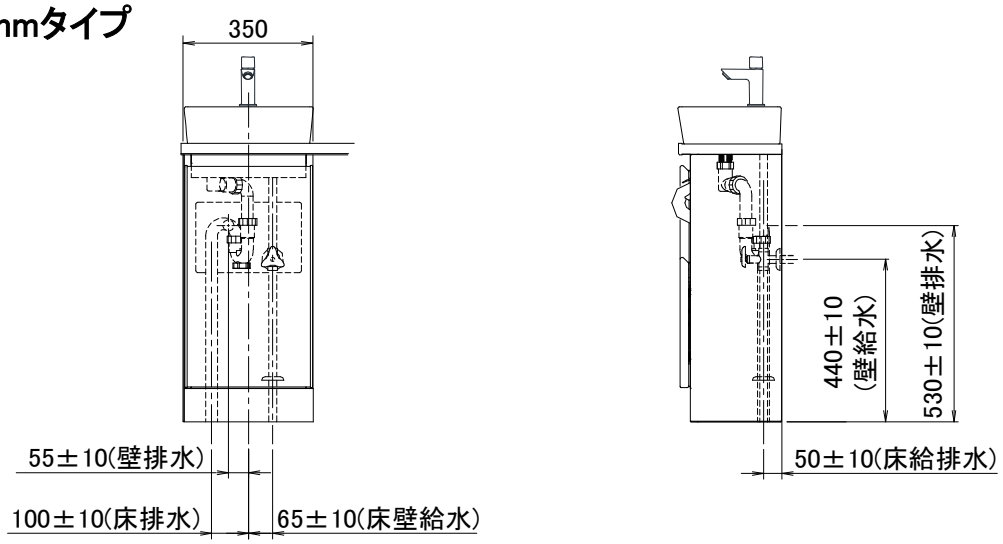


給排水位置図

■奥行157mmタイプ

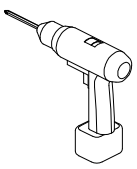


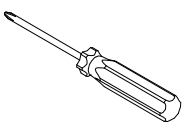
■奥行280mmタイプ

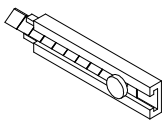


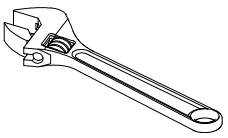
※ご注意
- 壁排水の場合は、別途P管を手配してください。
- 手洗器下キャビネットのセンターからの寸法追いになります。
  左右勝手の違いによる給排水位置の違いはありません。

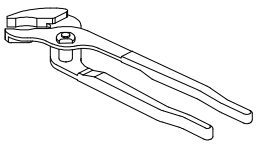
必要工具

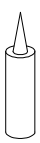

電気ドライバー

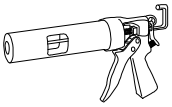

プラスドライバー

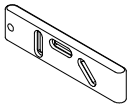

カッター


モンキーレンチ


パイプレンチ

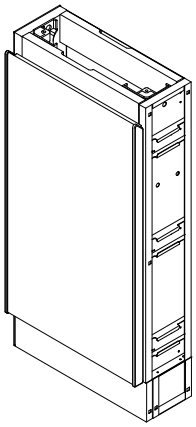

シリコン

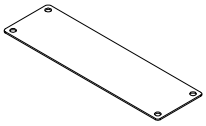

コーキングガン


水準器

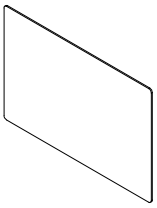
部品の確認

手洗器下キャビネット(奥行157mmタイプ)

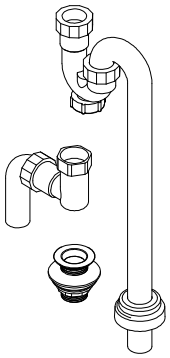




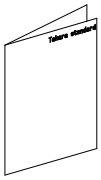
底点検口蓋(1枚)



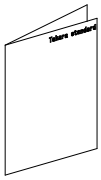
後点検口蓋(1枚)



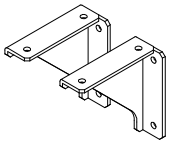
排水器具セット(1セット)



設置説明書(本紙)

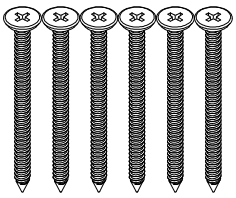


取扱説明書(1枚)

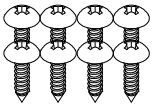


ブラケット(2個)

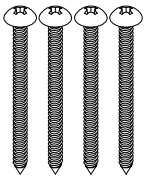
防水パッキン(2巻)



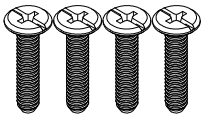
トラスタッピンネジ
4.5×60 (6本)



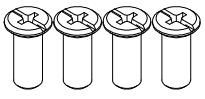
トラスタッピンネジ
4×14 (8本)



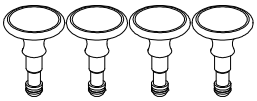
トラスタッピンネジ
4×50 (4本)



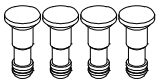
連結ボルト
M6×28 (4本)



連結ナット
M6 (4本)

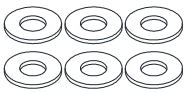


樹脂ラッチ(大)(4個)



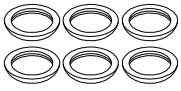
樹脂ラッチ(小)(4個)

樹脂ラッチ受け(8個)



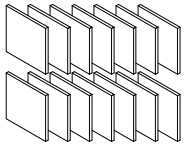
ワッシャ (6個)

ネジキャップ(大)(8個)

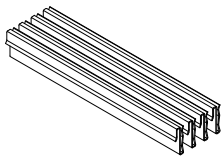


ネジキャップ(小)(6個)

穴キャップ(3個)



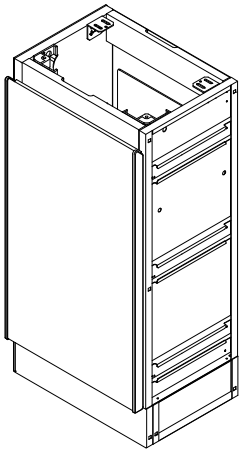
スペーサー(12枚)

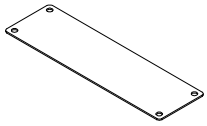


クリップ(4本)

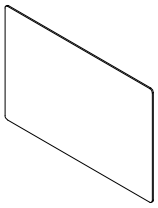
部品の確認

手洗器下キャビネット(奥行280mmタイプ)

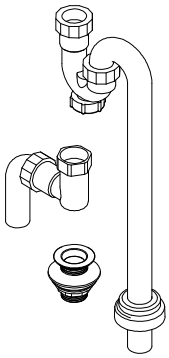




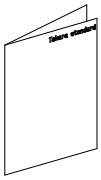
底点検口蓋(1枚)



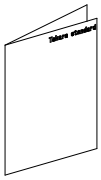
後点検口蓋(1枚)



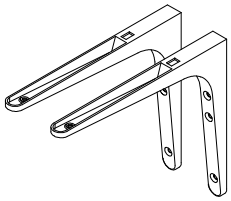
排水器具セット(1個)



設置説明書(本紙)

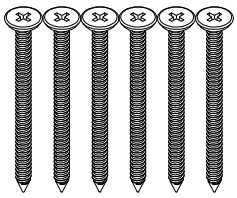


取扱説明書(1枚)

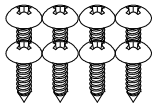


ブラケット(2個)

防水パッキン(2巻)

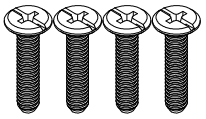


トラスタッピンネジ
4.5×60 (6本)

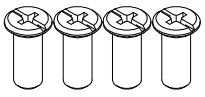


トラスタッピンネジ
4×14 (8本)

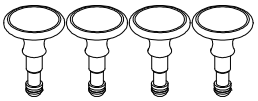
皿タッピンネジ
3.5×45 (6本)



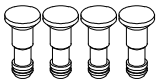
連結ボルト
M6×28 (4本)



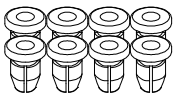
連結ナット
M6 (4本)



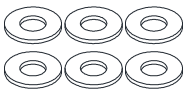
樹脂ラッチ(大)(4個)



樹脂ラッチ(小)(4個)

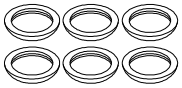


樹脂ラッチ受け(8個)



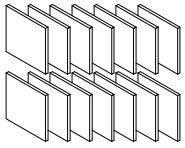
ワッシャ (6個)

ネジキャップ(大)(8個)

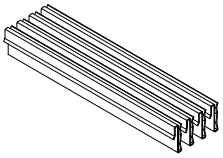


ネジキャップ(小)(6個)

穴キャップ(3個)



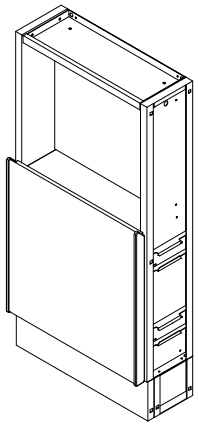
スペーサー(12枚)



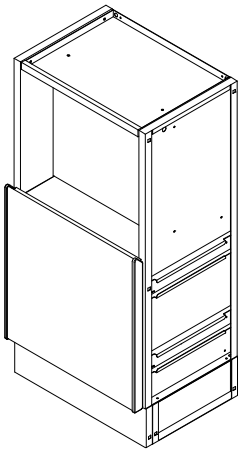
クリップ(4本)

部品の確認

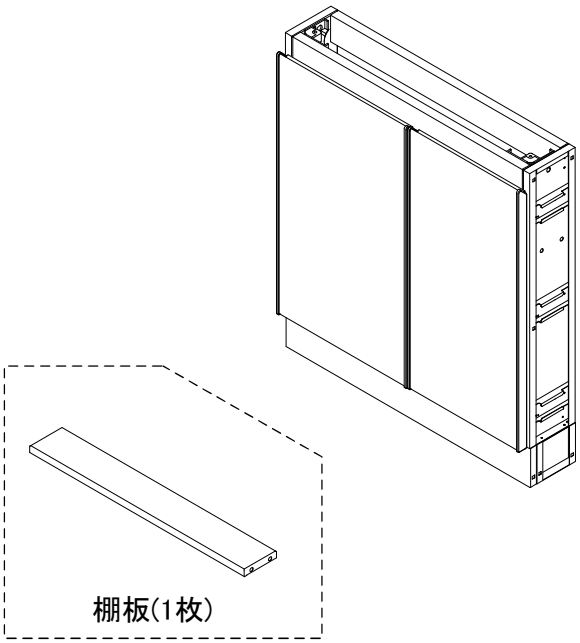
紙巻器下キャビネット(奥行157mmタイプ)



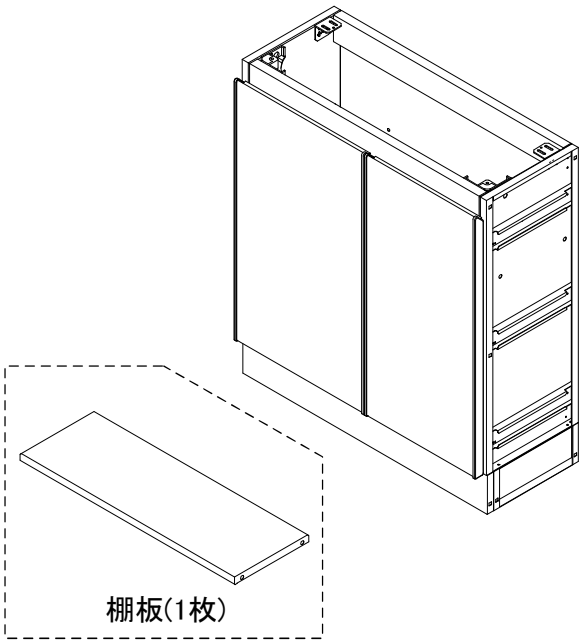
紙巻器下キャビネット(奥行280mmタイプ)



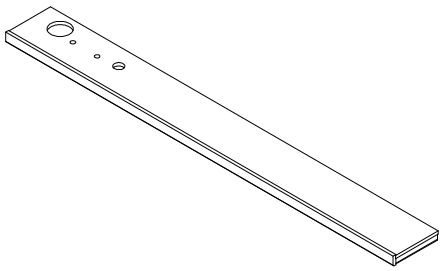
サイドキャビネット(奥行157mmタイプ)



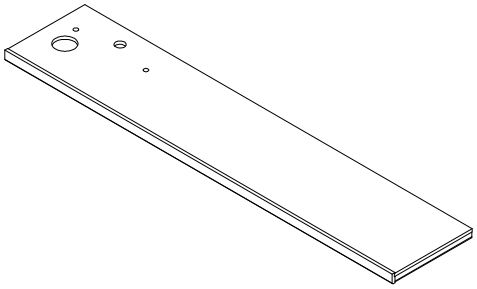
サイドキャビネット(奥行280mmタイプ)



カウンター(奥行157mmタイプ)

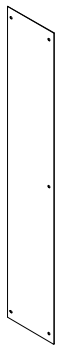


カウンター(奥行280mmタイプ)

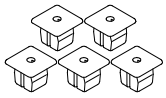


部品の確認

エンドカバー(奥行157mmタイプ)



ネジキャップ(5個)



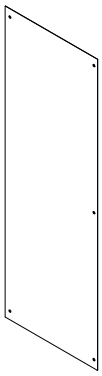
樹脂ナット(5個)

ネジキャップ座金(5個)

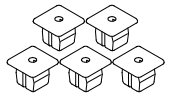
皿タッピンネジ
3×16 (5本)

ソフトテープ(1巻)

エンドカバー(奥行280mmタイプ)



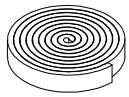
ネジキャップ(5個)



樹脂ナット(5個)

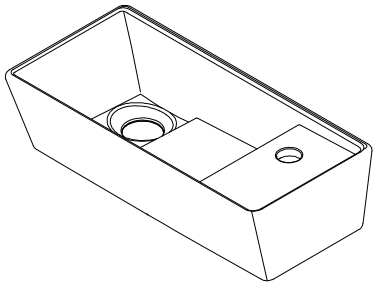
ネジキャップ座金(5個)

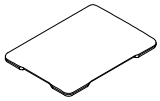
皿タッピンネジ
3×16 (5本)



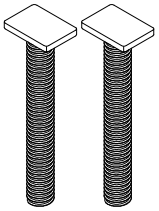
ソフトテープ(1巻)

手洗器(奥行157mmタイプ)



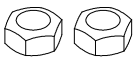


排水蓋 (1個)



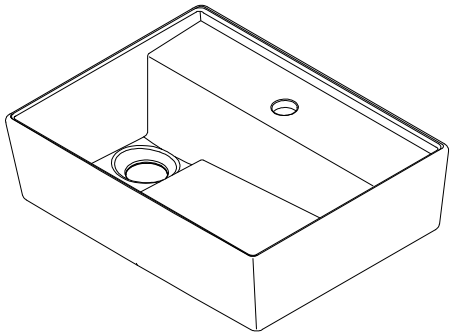
Tボルト
M8×60 (2本)

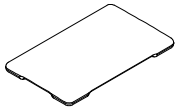
ワッシャ (2個)



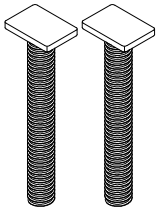
ナット (2本)

手洗器(奥行280mmタイプ)





排水蓋 (1個)

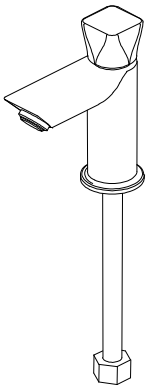


Tボルト
M8×60 (2本)

ワッシャ (2個)

ナット (2本)

水栓(奥行157/280mmタイプ共用)

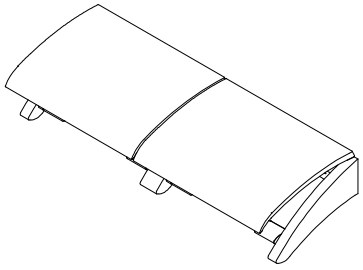


馬蹄座金 (1個)

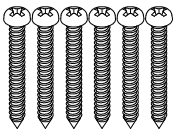
六角ナット (1個)

アダプター(1個)

紙巻器(奥行157/280mmタイプ共用)



バネ座金 (6個)



ナベタッピンネジ
4×30 (6本)

設置手順

■下記の手順にしたがって、設置作業を進めてください。

(1)扉の取りはずし → (2)防水パッキンの貼付け → (3)エンドカバーの取付け →
(4)巾木のカット → (5)キャビネットの連結 → (6)キャビネットの固定 →
(7)カウンターの固定 → (8)コーキング処理 → (9)棚板の取付け →
(10)防水パッキンの貼付け → (11)水栓の取付け → (12)手洗器の固定 →
(13)給排水管の接続 → (14)紙巻器の取付け → (15)扉の取付け

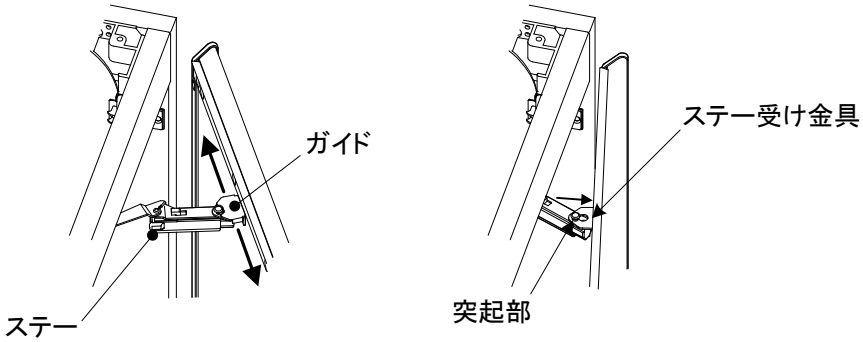
※設置手順で記載の図は、左勝手を示します。右勝手は左右対称となりますので、ご注意ください。
但し、手洗器には勝手はありません。

(1)扉の取りはずし

各キャビネットの扉をはずします。
※扉を固定している丁番のはずしかたは、本紙の18・19ページを参照してください。

■サイドキャビネットの開き扉はステーと固定されていますので、下記要領も参照してください。
①ガイドを左右に押し広げて取りはずす。
②本紙の18・19ページを参照して丁番を取りはずす。
③ステーの突起部をステー受け金具のもう一方の穴に移動させ取りはずす。

※②の作業の際は、扉を手で支えながら行ってください。ステーが破損するおそれがあります。

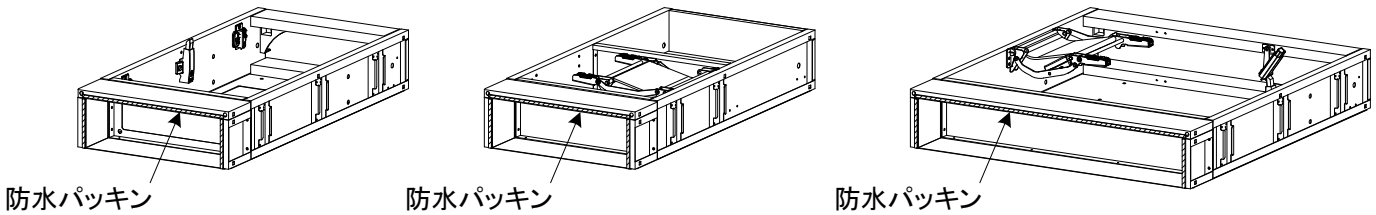


(2)防水パッキンの貼付け

※ホーロークリーントイレパネル(フロア用)
[全面タイプ]を設置した場合のみ

各キャビネットの底(3辺)に防水パッキンを貼付けます。(下図の網掛け部)

※外側にはみ出さないようにしてください。

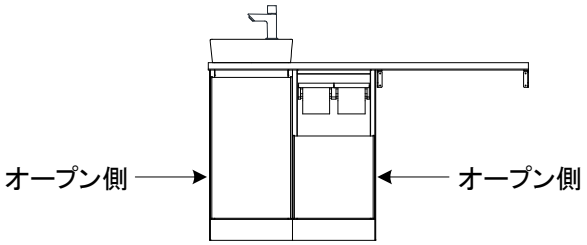


手洗器下キャビネット　紙巻器下キャビネット　サイドキャビネット

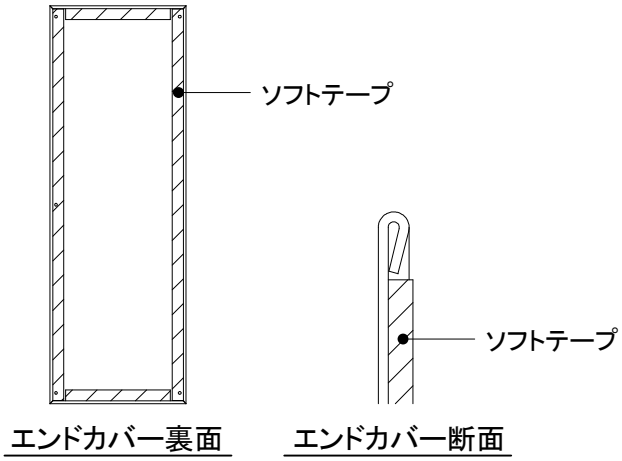
設置手順

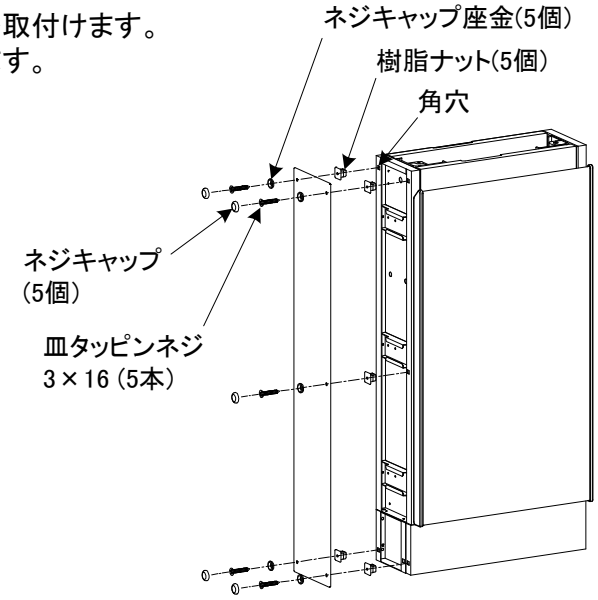
(3)エンドカバーの取付け

オープン側(キャビネットを連結しない面)に下記手順でエンドカバーを取付けます。



①エンドカバーの裏面にソフトテープを貼付けます。
②キャビネット側面に開いている角穴に樹脂ナットを取付けます。
③エンドカバーをネジキャップ座金を介して取付けます。
④ネジキャップを取付けます。



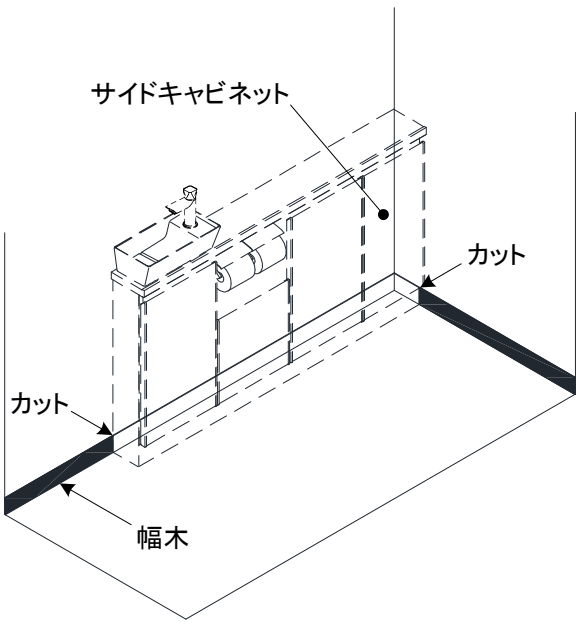


※ネジを締付けすぎないでください。
ネジキャップ座金が変形し、ネジキャップが取付けにくくなります。

(4)幅木のカット

キャビネットを設置する部分の幅木を下図のように
カットしてください。

※必ずキャビネットを仮置きし、カット寸法を確かめてください。
※サイドキャビネットを設置しない場合は、その個所の幅木はカットしないでください。
※幅木のカットを行わないとキャビネット固定時に、隙間があいたり、キャビネットが不安定な状態で固定されます。

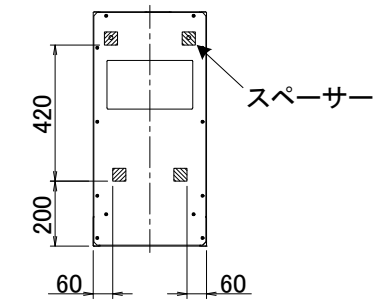


設置手順

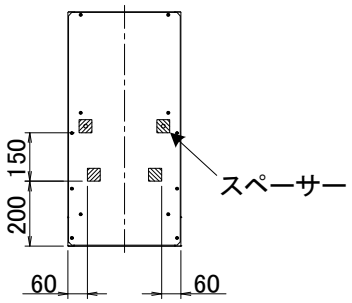
(5)キャビネットの連結

①各キャビネットの裏面にスペーサーを貼付けます。(下図参照)
②隣接するキャビネットを連結ボルト・連結ナットで連結します。(1キャビネットあたり2ヶ所)
③連結ボルト・連結ナットにネジキャップを取付けます。
④連結に使用しなかった穴には穴キャップを取付けます。
※下側2ヶ所・紙巻器下キャビネット上部1ヶ所

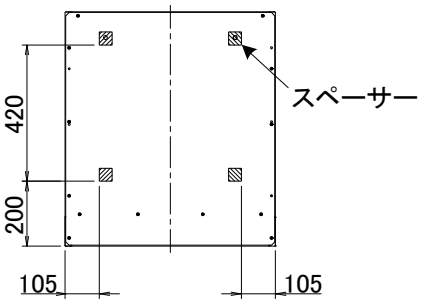
注意:・隣接するキャビネットを密着させて軽く締付けてください。
強く締付けるとキャビネットが変形するおそれがあります。
・電気ドライバーは使用しないでください。



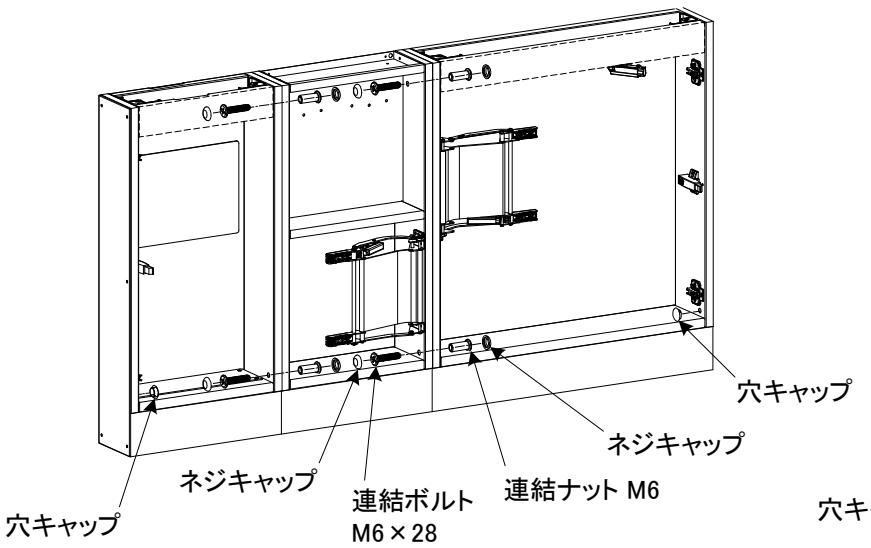
手洗器下キャビネット



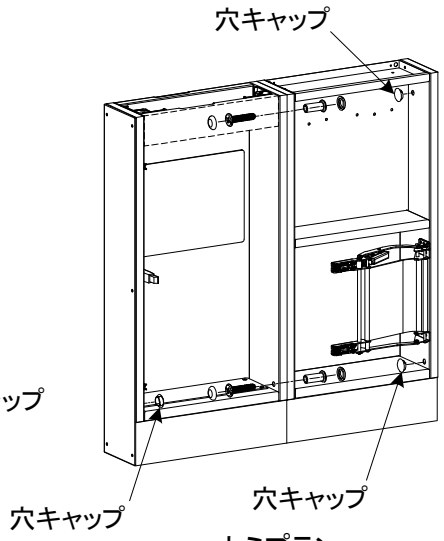
紙巻器下キャビネット



サイドキャビネット



フルプラン

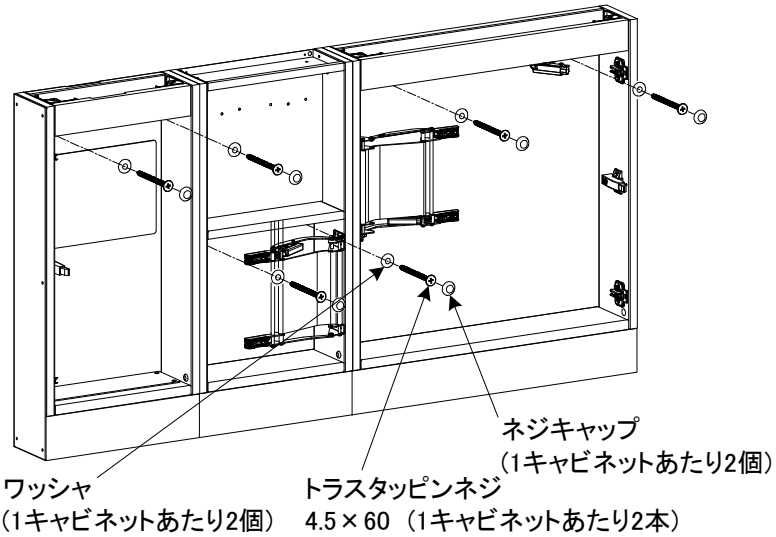


セミプラン

(6)キャビネットの固定

①キャビネットを所定の位置に設置します。
②キャビネットをワッシャを介してネジで
壁面に固定します。
③ネジにネジキャップを取付けます。

注意:壁面にホーローパネルを設置している場合は、下穴加工を施してください。
(ホーローパネル設置説明書参照)

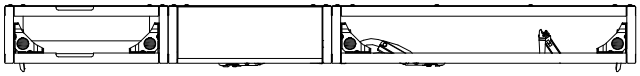


設置手順

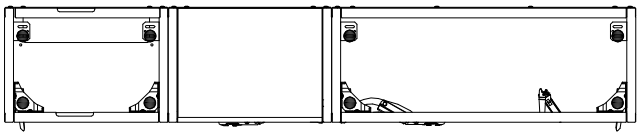
(7)カウンターの固定

■フルプランの場合

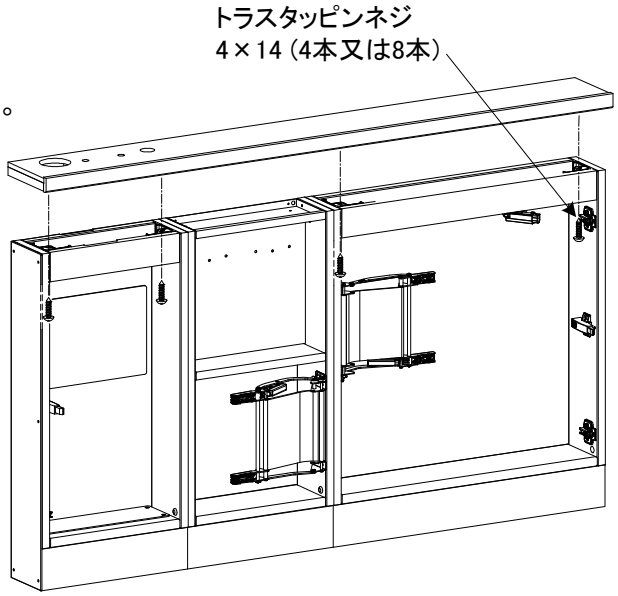
①キャビネットにカウンターを載せます。
②キャビネット内部からカウンターをネジで固定します。
※下図の●位置



奥行157mmタイプ(4ヶ所)

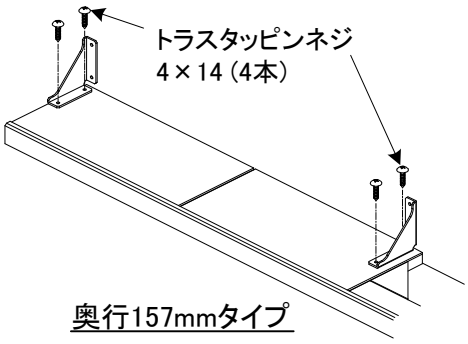


奥行280mmタイプ(8ヶ所)

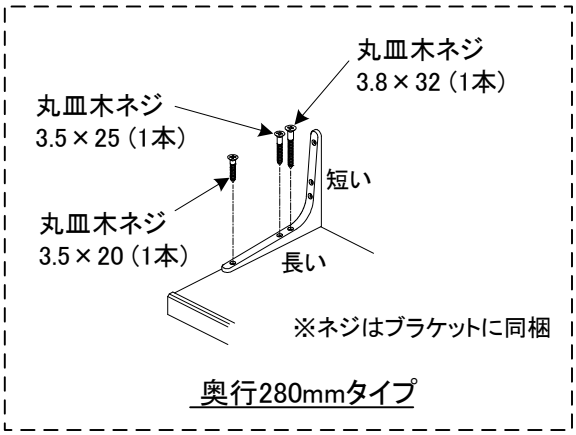


■セミプランの場合

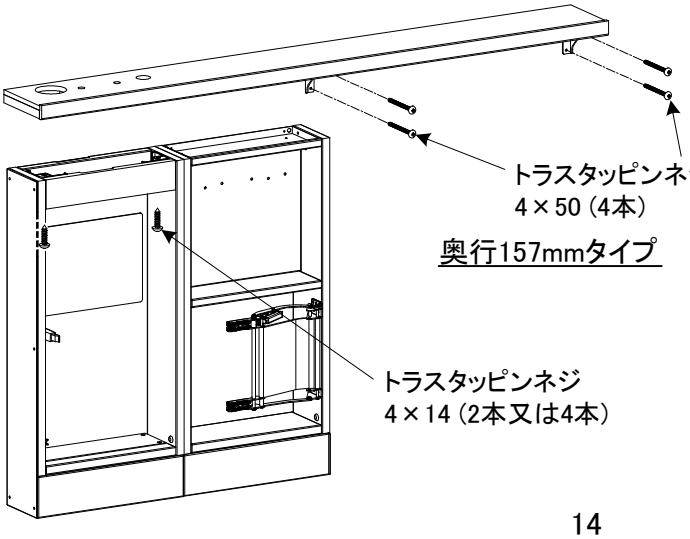
①トイレ室内に梁等がある場合は、適当な寸法にカウンターをカットします。
②カウンターにブラケット(2個)を取付けます。
※取付位置は設置状態図(5ページ)を参照してください。
①でカウンターをカットした場合は、カットした分だけブラケット間隔を縮めてください。
③キャビネットにカウンターを載せます。
④キャビネット内部からカウンターをネジで固定します。
⑤ブラケットを壁面に固定します。



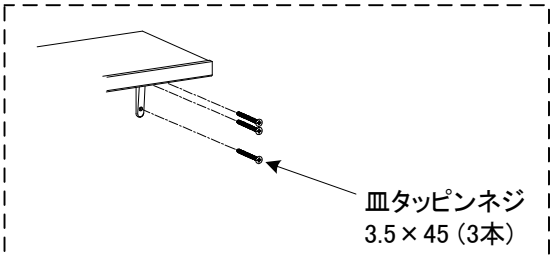
奥行157mmタイプ



奥行280mmタイプ



奥行157mmタイプ

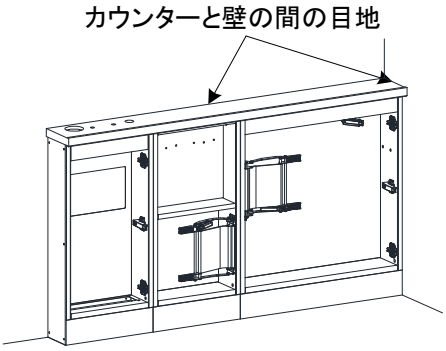


奥行280mmタイプ

設置手順

(8)コーキング処理

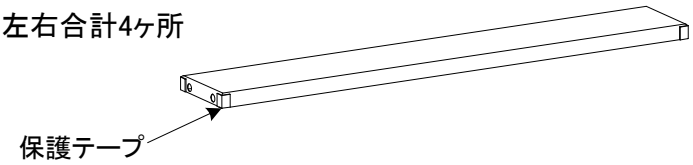
外観向上および防水処理のため、次の箇所に
シリコーン剤でコーキング処理を行います。

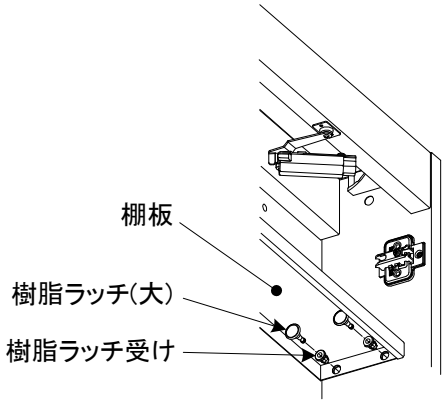


(9)棚板の取付け

※サイドキャビネットのみ

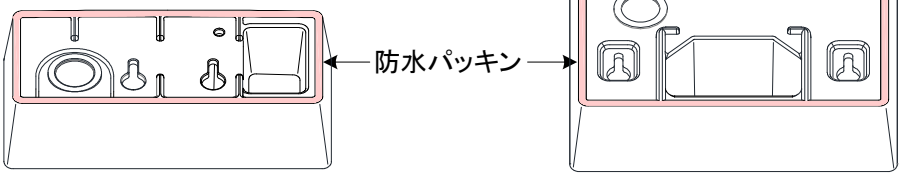
①棚板の4隅に付いている保護テープを剥がします。
②樹脂ラッチで棚板を固定します。
※左右合計4ヶ所



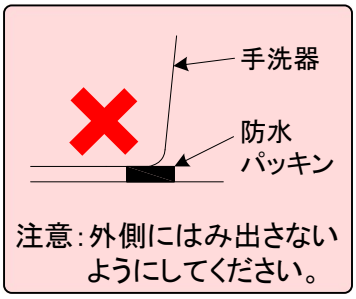


(10)防水パッキンの貼付け

手洗器裏面の汚れをふき取り、防水パッキンを貼付けます。

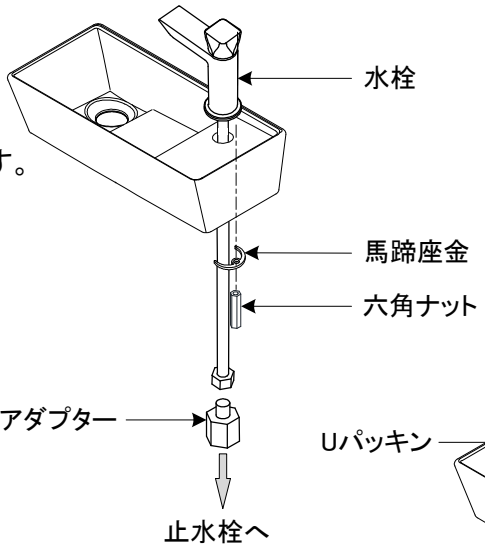


奥行157mmタイプ　　奥行280mmタイプ



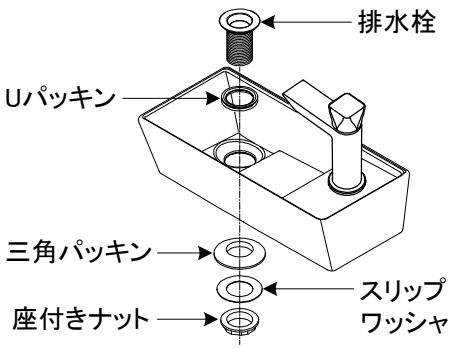
(11)水栓の取付け

①水栓を手洗器に取付けます。
②止水栓に同梱のフレキ管を取付けます。

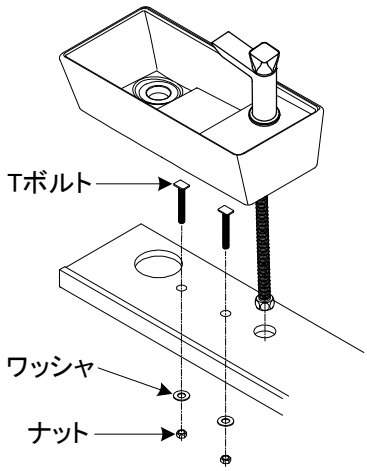


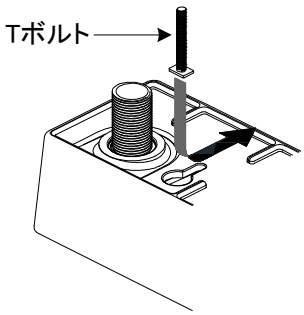
(12)手洗器の固定

①手洗器に排水栓を取付けます。
②手洗器にTボルトを差し込みます。
③カウンターに手洗器を載せ、Tボルトで固定します。
④排水蓋を排水口の上に置きます。

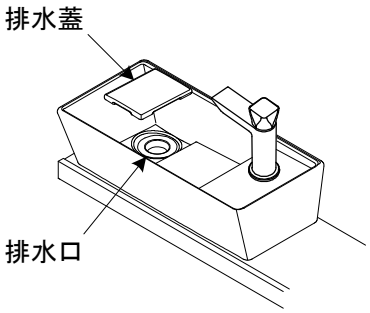


設置手順





Tボルトの差し込み方

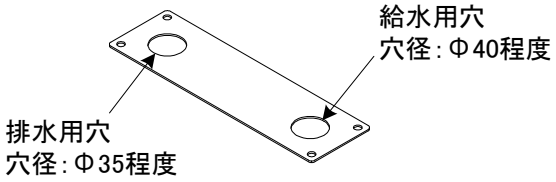


(13)給排水管の接続

(13-1)給排水用穴の加工

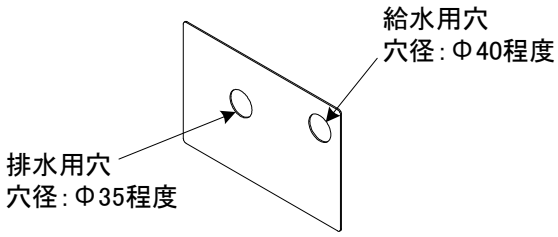
6ページに記載の給排水位置に合わせて、手洗器下キャビネットの点検口蓋に必要な穴(給水管・排水管用)をあけます。

■床から配管されている場合
底板の点検口蓋に穴をあけます。



底点検口蓋

■壁から配管されている場合
底板の点検口蓋に穴をあけます。

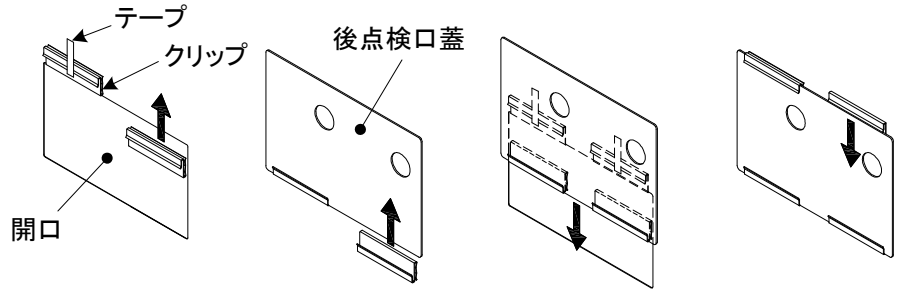


後点検口蓋

ご注意:点検口蓋は光沢がある面が表側(外観面)になります。

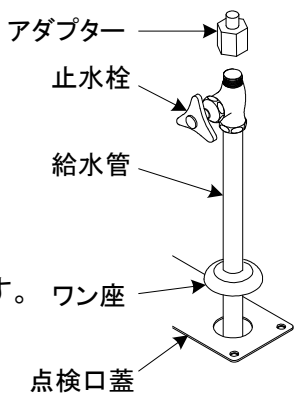
(13-2)後点検口蓋の取付け

①後板の開口上部にクリップを2個差込み、テープ等で固定します。
②後点検口蓋下部にクリップを2個差込みます。
③②で準備した後点検口蓋を後板の開口部に差込みます。
④①でクリップを固定したテープを剥がし、下に押し下げます。



(13-3)給水管の接続

①給水管にワン座を通します。
②点検口蓋にあけた穴に給水管を通して、給水管の先端に止水栓を接続します。
③止水栓とアダプター(水栓の付属部品)を接続します。

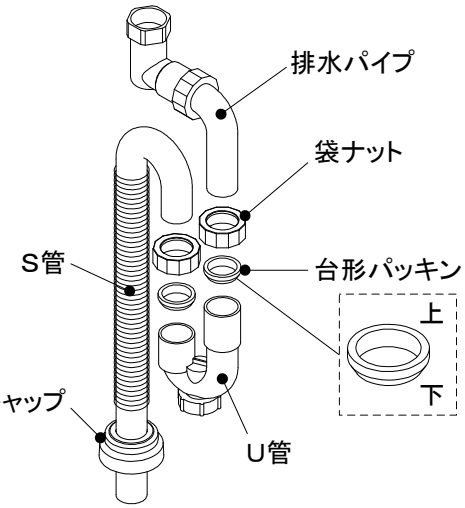


設置手順

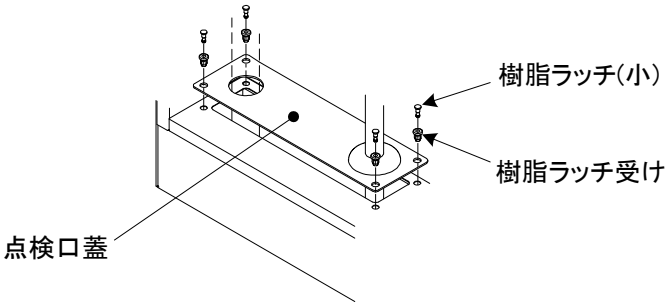
※ご注意
・パッキンの取付位置を間違えたり、ねじれた状態で接続しないでください。
水漏れの原因になります。
・金属製のナット類は充分締め付けてください。締め付け不良の場合、
水漏れの原因になります。

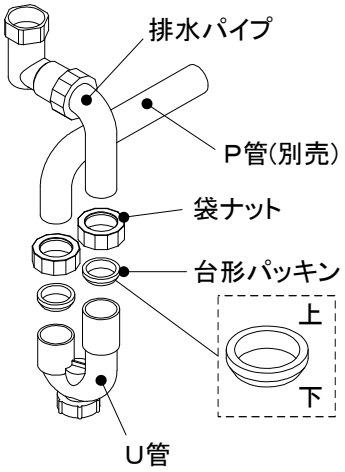
(13-4)排水管の接続

壁排水の場合はP管(別売部品)が必要です。
※凍結防止・結露防止の必要な場合は、配管に保温材を巻く等
の保温処理を施してください。



■床排水の場合
①キャビネットの点検口蓋にあけた穴にS管を通します。
②S管の先端に防臭キャップを通し、U管と排水パイプを確実に
接続します。
③排水パイプと手洗器に取付けた排水栓を確実に接続します。
④建物側の排水管にS管を差し込んだ後、S管と建物側
の排水管を水漏れのないように注意して接続し、防臭
キャップで完全にシールします。
⑤点検口蓋を樹脂ラッチでキャビネットに取付けます。



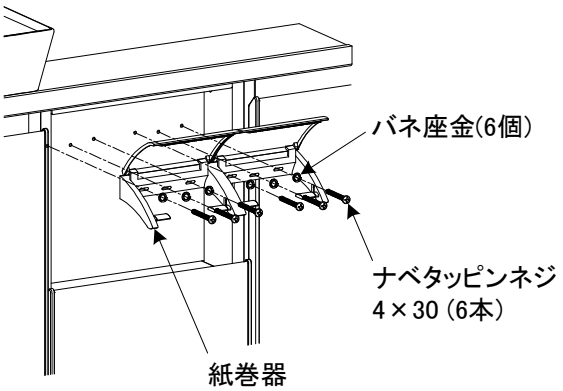


■壁排水の場合
①建物側の排水管にP管を差し込んだ後、U管と
排水パイプを確実に接続します。
(P管は別売部品です)
②排水パイプと手洗器に取付けた排水栓を確実に接続します。
③P管と建物側の排水管を水漏れのないように注意して接続します。

(14)紙巻器の取付け

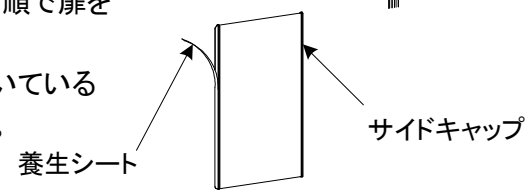
バネ座金を介してネジで固定します。

※φ2程度の下穴をあけると、取付けやすくなります。



(15)扉の取付け

①(2)扉の取外しの逆の手順で扉を
取付けます。
②扉のサイドキャップに付いている
養生シートを剥がします。



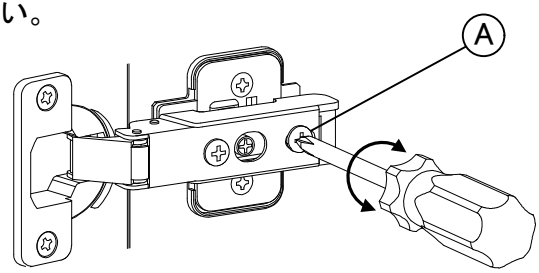
調整方法

■開き扉の調整方法

扉がガタついたり扉に段違いが発生した場合は、
下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。

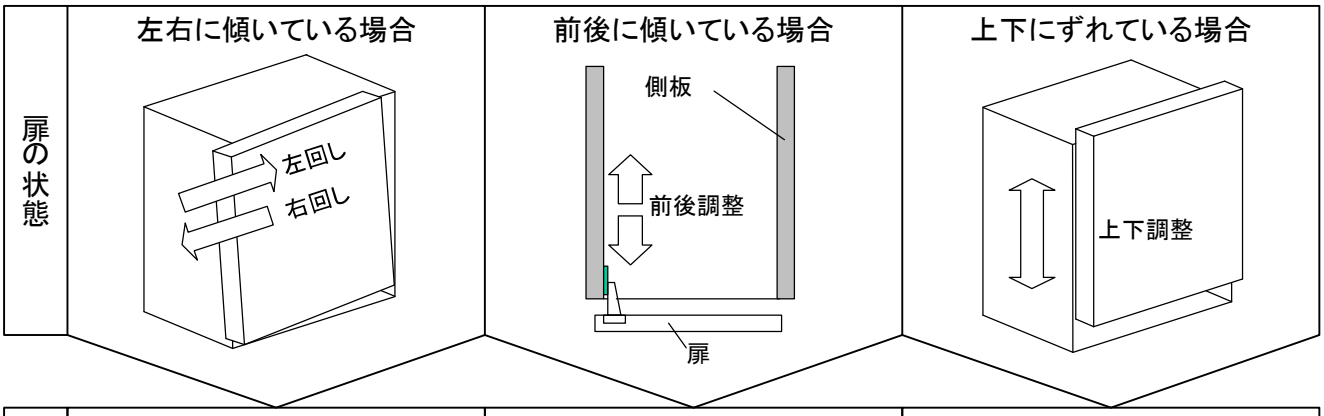
●扉ががたつく

Ⓐのネジをプラスドライバーで締める。

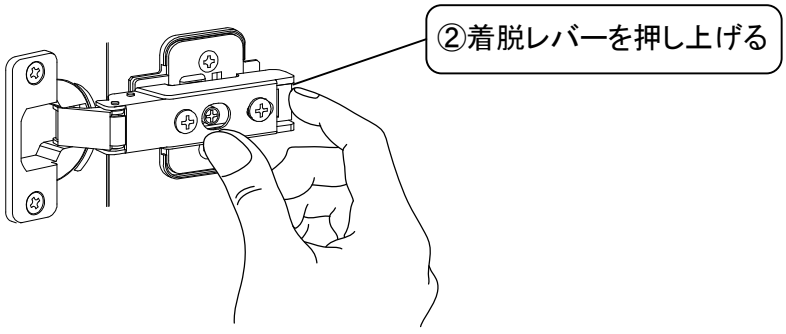


●扉が閉まらない・揃わない

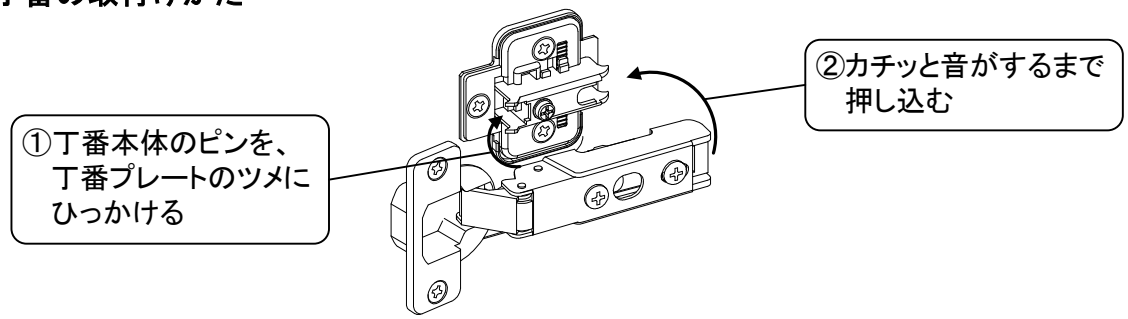
丁番のネジで調整する。



●丁番のはずしかた



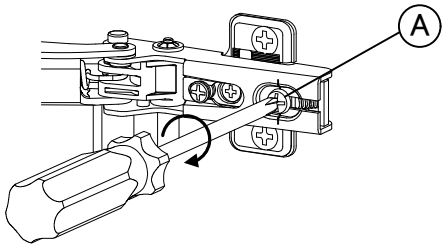
●丁番の取付けかた



調整方法

■スライド扉の調整方法

扉がガタついたり扉に段違いが発生した場合は、
下記の要領にしたがって締め直し又は調整を行ってください。

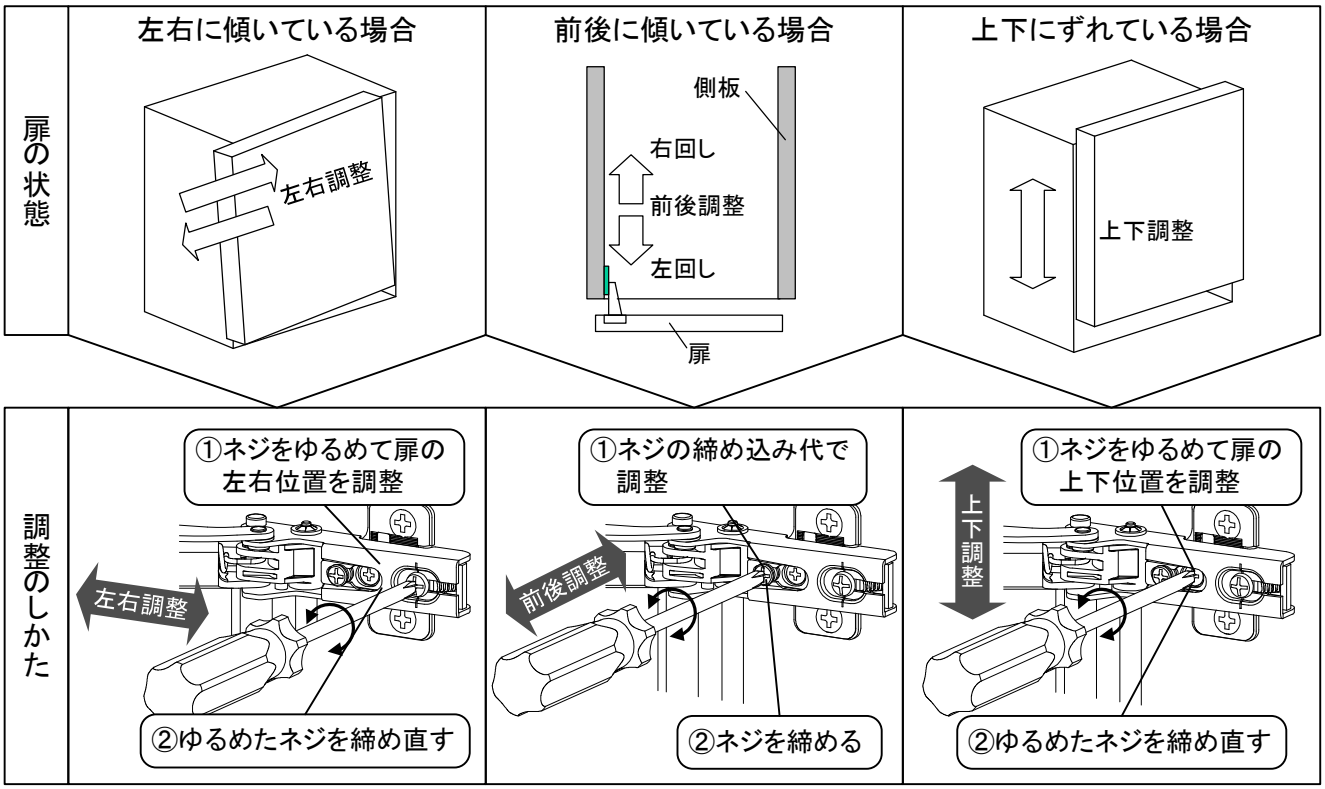


●扉ががたつく

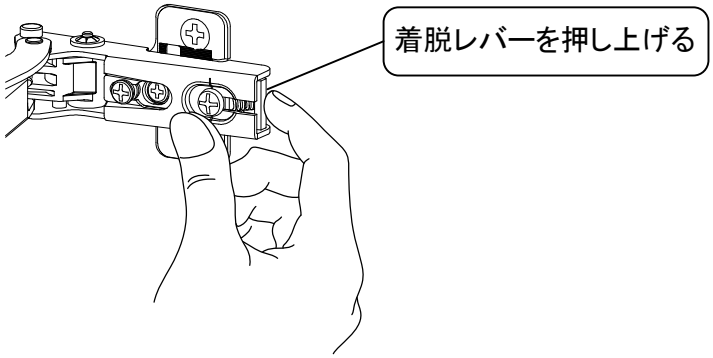
Ⓐのネジをプラスドライバーで締める。

●扉が閉まらない・揃わない

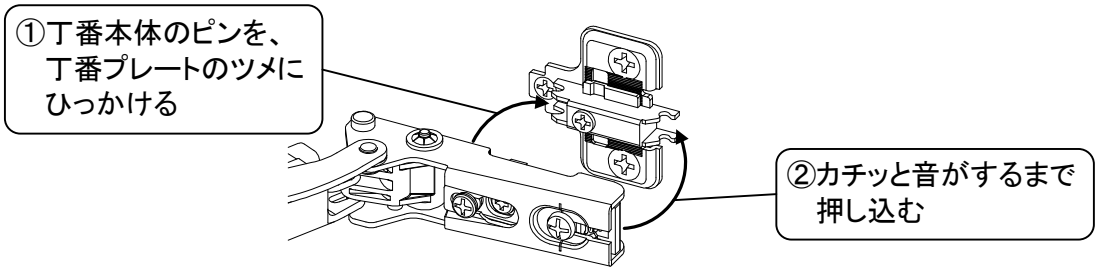
丁番のネジで調整する。



●丁番のはずしかた



●丁番の取付けかた



調整方法

■ダンパーの調整方法

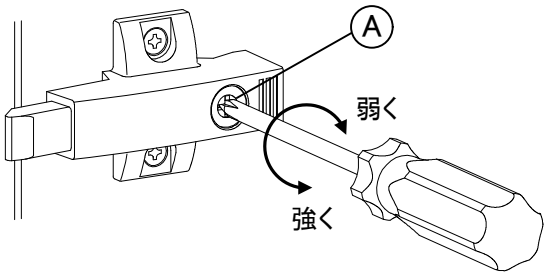
開き扉のソフトクローズ具合を調整したい場合は、下記要領に従ってください。

●ソフトクローズ具合を強くする

Ⓐのネジをプラスドライバーで左に回す。

●ソフトクローズ具合を弱くする

Ⓐのネジをプラスドライバーで右に回す。



点検・仕上げ

●点検

・キャビネット本体と床の間でガタつきがないかを確認してください。
・配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
・扉に、丁番のゆるみによるガタつきがないことを確認してください。

●仕上げ

・設置時に商品が汚れた場合は、水を含ませて固くしぼった布で軽くふいてください。
その後、乾いた布でふき取ってください。
・落ちにくい汚れの場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布またはスポンジで汚れを落としてください。
その後、水を含ませて固くしぼった布、またはスポンジで洗剤をふき取り、最後に乾いた布でふき取ってください。

ご注意：・溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、
漂白剤は使用しないでください。
製品をいためるおそれがあります。

・製品を傷つけるおそれのあるたわし・
みがき粉等は使用しないでください。

お願い事項

●製品の養生

すべての作業が完了しましたら、保護養生してください。

●取扱説明書の保管・引渡し

トイレおよびオプション製品の取扱説明書は製品上部に置き、お引き渡しの際に
不足のないことを確認してお客様にお渡しください。

●梱包材その他の工事部材の処理

梱包資材等の不要部材は法令にしたがって適正な処理をお願いします。

タカラスタンダード株式会社
本社 〒536-8536 大阪市城東区鴫野東1丁目2番1号

セッチセツメイショWCSC(3) 9H-1
1296995 7